

悪天候で足止め、その後未診療地区に

厚生連村上総合病院 DMAT

林 達彦

3月16日～19日

3/16 16:00 病院発
22:15 岩手県庁着；災対・DMAT 本部
でブリーフィングを受ける。
宮古市での活動が決定するも、
夜間、天候不良（雪）の移動（峠
越え）は止められ、盛岡止まり。

3/17 10:30 県立宮古病院着；病院担当者、
前活動 DMAT と協議し DMAT
活動の撤退を決定。
宮古市市役所健康保健課（担当；
小野寺さんと約20名の保健師）、
宮古保健所；柳原保健所長、宮
古医師会長（木澤先生）、県立宮
古病院；菅野病院長と断続的に
お会いし、情報の共有化・連携
のためのチーム作りを強く勧め

る。平行して、未だ医療チーム
が入っていなかった「白浜・赤
前地域」に入り、津軽石小学校
の避難所（体育館）に隣接した
学校内に救護所を設営。約800名
の避難者を巡回し、約40名の傷
病者を診察、投薬。

3/18 7:00 保健所主導で「宮古圏域医療救
護関係機関調整会議」が開催さ
れた。
救護所活動とともにPMは避難
所巡回（赤前小）もおこなう。
16:30 翌日からの医療班（静岡県立総
合病院チーム）のめどが立ち、
夜間のセーフティ・ネットを作
り、津軽石小から撤退
19:00 岩手県庁に活動報告、盛岡止ま
り、3/19 村上総合病院帰院